

## 1 基本的な考え方

①素案で一部追加・修正

- 会場整備にあたっては、できるだけ自然環境に負荷を与えないように配慮するとともに、経費節減を図ることを基本とします。
- 会場に設置する仮設構造物等には、持続可能な森林経営により生産された県産木材を積極的に~~できるだけ~~使用するとともに、再生資源の活用など、環境負荷の少ない会場整備に努めます。
- 高齢者や障害者をはじめ、すべての参加者が安全で快適に参加できるよう、ハード面はもちろんのこと、情報アクセシビリティの観点なども含めて、ユニバーサルデザインを意識した会場整備に努めます。

★コロナ対応の想定

・感染対策の実施

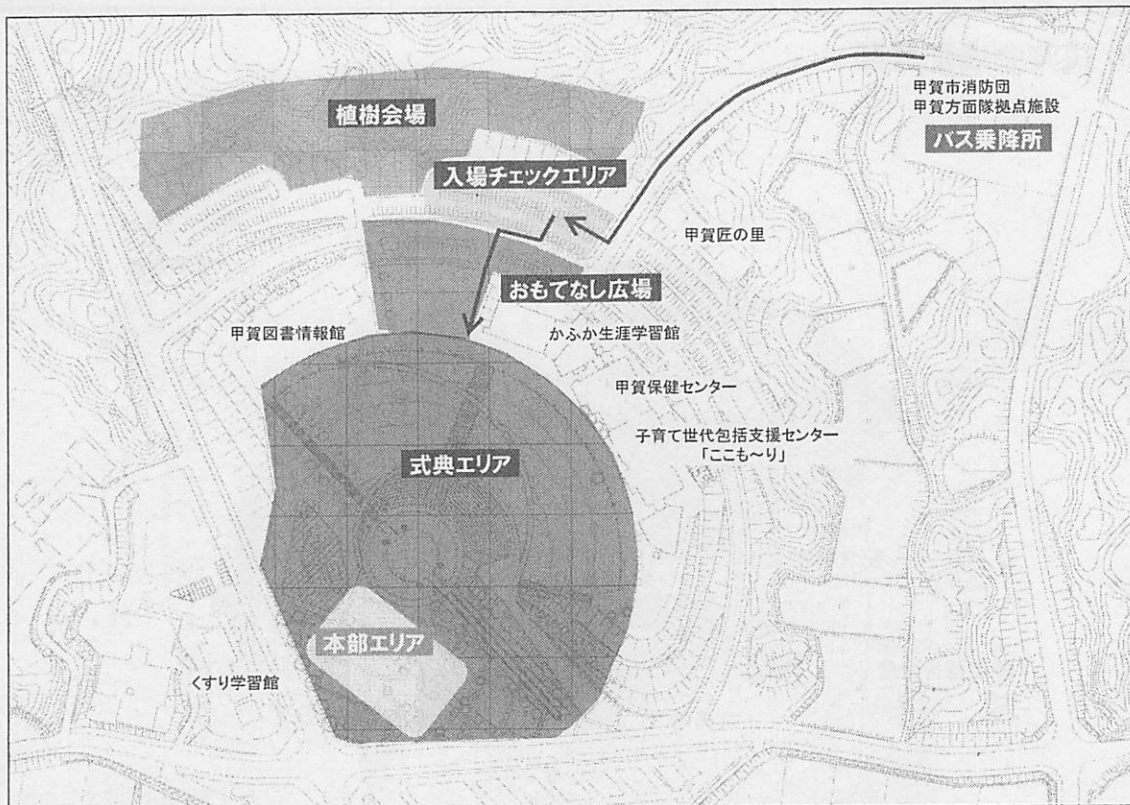
(招待者や出演者等におけるソーシャルディスタンスの確保等)

## 2 施設配置図・イメージ図

### (1) 式典会場の配置

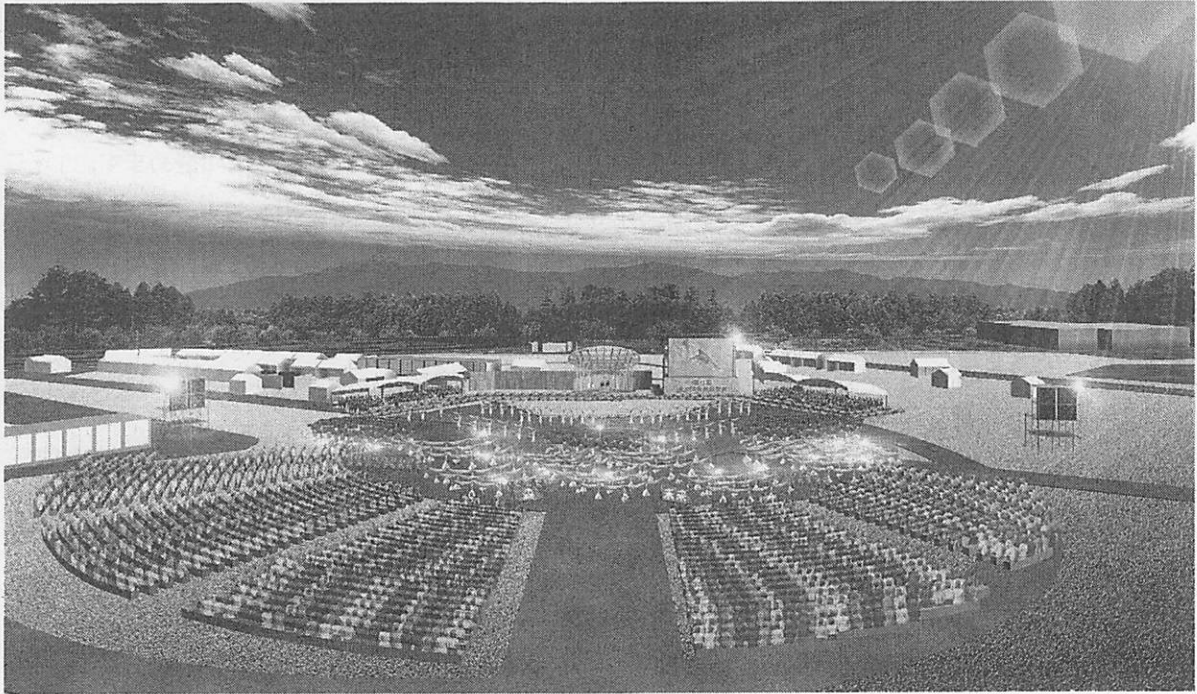
会場は、式典エリア、本部エリア、おもてなし広場、入場チェックエリア等にゾーン分けします。

会場レイアウトや構造物等については、周辺の景観との調和や、安全性、機能性を考慮するとともに、~~できるだけ~~県産木材を積極的に使用します。

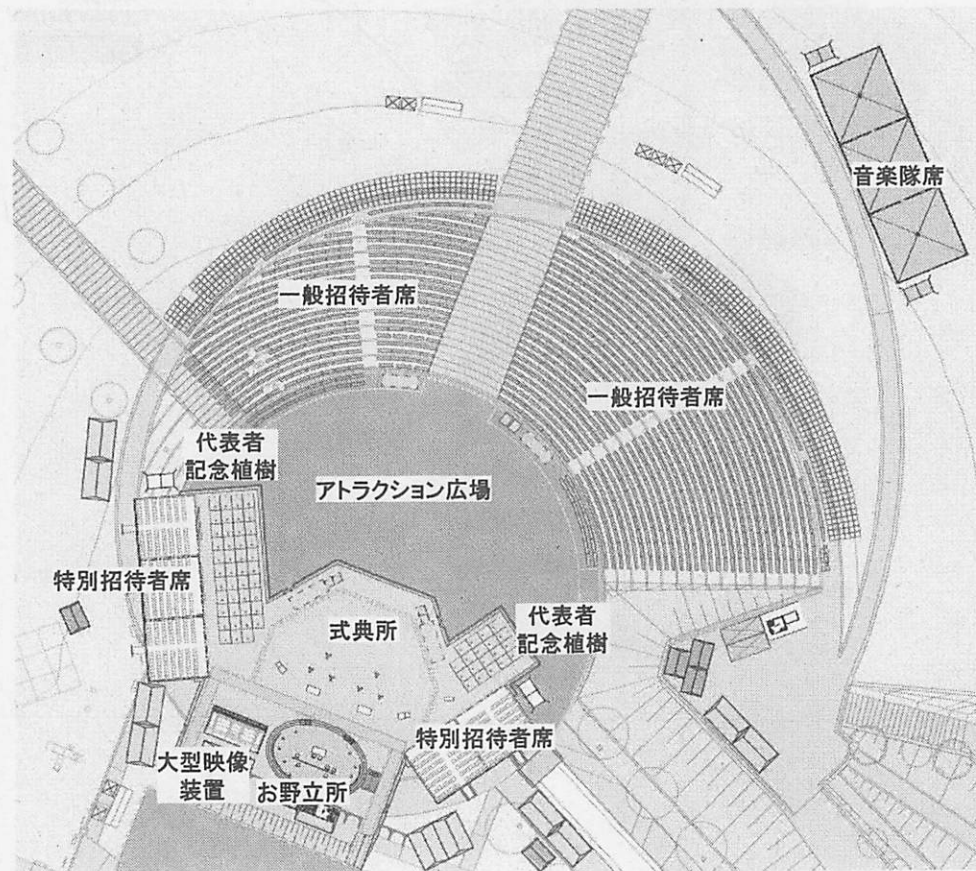


①素案で一部追加

(2) 式典会場のイメージ



(3) 式典会場配置図





①素案で一部修正

## 3 主要施設計画

②中間案で一部追加予定

## (1) お野立所

- 円形の床は琵琶湖をイメージし、柱部分は樹木を、屋根は樹冠の広がり表現することにより、森と湖のつながりや、「滋賀らしさ」を感じさせるデザインとします。
- びわ湖材産地証明制度に基づく県産木材を使用することで、びわ湖材の普及啓発を図るとともに、床背面等にびわ湖材のCLT(直交集成板)を使用します。
- 経費の節減に努めるとともに、大会終了後には、部材として再利用することを考慮して制作します。



お野立所イメージ

【お野立所図面を記載】

【平面図】

【側面図】

(2) 仮設工作物

● ...

<特別招待者席(上手側)>

【正面図】

**【特別招待者席(上手)図面を記載】**

【側面図】

【平面図】

<特別招待者席(下手側)>

【正面図】

**【特別招待者席(下手)図面を記載】**

【側面図】

【平面図】



②中間案で追加予定

<音楽隊席>

【正面図】

【平面図】

**【音楽隊席図面を記載】**

【側面図】

②中間案で一部追加予定

<大型映像>

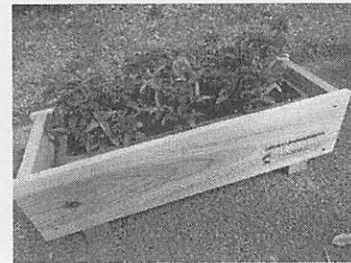
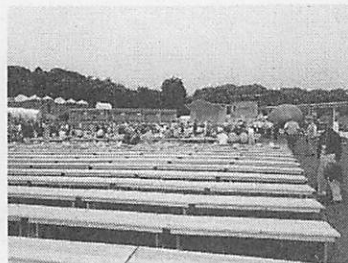
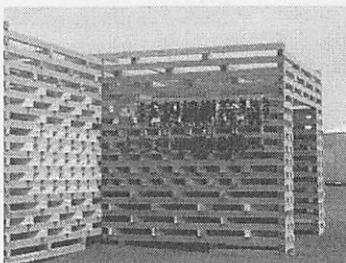
【正面図】

【大型映像図面を記載】

【側面図】

### (3) 会場内工作物

- 原則として県産木材を使用し、安全性、経済性および周辺の景観に配慮したものとします。



参考例：第70回全国植樹祭愛知大会



基本構想・基本計画で検討済み  
(加筆修正は可能)

#### 4 案内・誘導計画

- 招待者が安全かつスムーズに式典や植樹行事などに参加することができ、各施設等への移動に支障がないよう、各所に案内サインを設置します。
- 案内サインの材料には、県産木材のほか、リユース可能な製品の活用等、環境に配慮した資材の使用に努めます。
- 案内サインは、ユニバーサルデザインに留意し、招待者が見やすい色彩、大きさにするとともに、見やすい位置、高さに設置します。また、ピクトサイン(絵文字)を使用する等、招待者が一目で分かるようなサインとするほか、視覚障害者向けに音声案内設備を設置するなど、障害等の特性に応じた方法で案内できるよう対応します。
- 外国の方の参加にも配慮し、状況に応じて外国語で表記します。

設置区域	サイン種別	内容
会場全体	施設表示	各エリア、施設等の名称を表示
	誘導	招待者を各エリア、施設等に誘導するサインを動線上に設置
	注意事項	遵守事項、安全管理事項、手荷物検査の協力要請事項、持ち込み禁止物に関する注意事項等を表示
式典会場	座席表示	招待者の座席位置等の表示
	会場案内図	会場内の全体図および現在地の表示
植樹会場	植樹地誘導	バス号車ごとに決められたブロックへ誘導するサインを参加者動線上に設置
	植樹位置	バス号車単位に決められた植樹ブロックを表示
輸送バス	バス号車	添乗員が招待者を誘導する際、バス号車を表示したプラカードを使用
	バス誘導	バスを会場周辺の動線に従い誘導したり、招待者乗降位置や駐車場へ誘導

## 5 電気・給排水・通信設備計画

②中間案で一部追加予定

## (1) 電気設備計画

既存設備で不足が生じた場合は、仮設電源(ジェネレーター等)を設置し対応します。

## (2) 給排水計画

水は既設の水道から給水し、排水は適正に処理します。

【給排水計画表を記載】

## (3) 仮設トイレ計画

植樹会場などに適正な数量を設置するとともに、衛生面にも十分に配慮します。

【仮設トイレ配置計画表を記載】

## (4) 通信設備計画

運営を円滑に行うため、会場の実施本部等に臨時電話を設置するほか、携帯電話やトランシーバーなどの無線通信機器を適正に配置します。

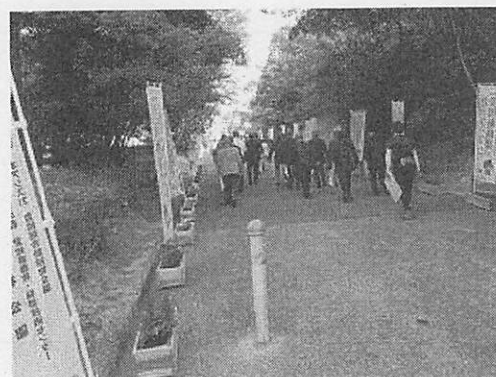
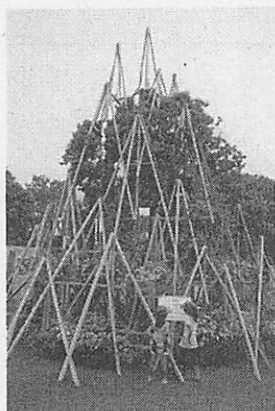
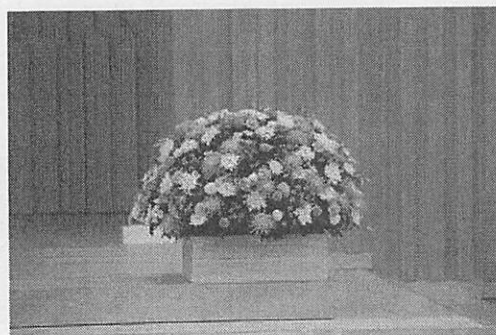


## 6 飾花計画

①素案で一部修正

- 会場周辺の飾花は、地元で育てられた花を使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の安全かつ円滑な動線が確保できるよう配置します。
- 会場内に設置する飾花プランターカバー等には、県産木材を活用するとともに、関連イベント等の機会を通じて子どもたちをはじめとする参加者と一緒に制作することで、開催機運の醸成を図ります。
- 滋賀県をはじめ、関係市町や関係団体、県民が一体となって、美化に努めます。

設置区域	内容
式典会場	各エリアの動線区分を行うとともに、会場内を華やかに演出するため、プランター等を設置します。
植樹会場	招待者に歓迎の意を表すとともに、安全で円滑な誘導を行うため、プランター等を設置します。 各エリアの植樹区分をわかりやすくするため、プランター等で区分します。
会場周辺道路	滋賀県および関係者が一体となって飾花を行い、招待者に歓迎の意を表します。



参考例：第70回全国植樹祭愛知大会

②中間案で追加予定

● 花の種類選定

No.	花名	花色	写真	特徴	設置場所		
					式典所	式典会場 及び周辺	
1							
2							
3							
4							
5			<b>【花の種類等を記載】</b>				
6							
7							
8							
9							





①素案で一部追加

## 1 基本的な考え方

- 全国から参加される皆さんを、県民一丸となって「おもてなしの心」でお迎えし、開催の意義や理念を全国、さらには世界に発信する場とします。
- 全国植樹祭の運営にあたっては、市町、関係団体、NPOおよびボランティア団体等との協力・連携を図りながら進めます。
- 大会で使用する資材等には、県産木材を積極的に活用するとともに、廃棄物の3R(リデュース、リユース、リサイクル)の徹底、とりわけ大会参加者への物品の提供については、ワンウェイ(使い捨て)プラスチック包装・容器等の使用を極力なくすなど、環境に最大限配慮した大会を目指します。
- 高齢者や障害者をはじめ、すべての参加者の安全、安心を確保し、快適に、清潔に過ごせるよう、ハード面はもちろんのこと、情報アクセシビリティの観点なども含めて、ユニバーサルデザインを意識しながら進めます。

★ コロナ対応の想定  
・感染対策の実施  
(招待者規模縮小、ソーシャルディスタンスの確保等)

## 2 招待計画

### (1) 招待計画による招待区分

参加者区分		人数
県外招待者	・公益社団法人国土緑化推進機構理事長と滋賀県知事との協議により定める者 ・各都道府県知事が推薦する者	1,100人
県内招待者	・第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会会長が推薦する者 ・滋賀県の市町長が推薦する者 ・公募による一般県民	1,900人
小計		3,000人
本部員・協力員	・実施本部員、出演者、運営ボランティア等	2,000人
合計		5,000人

★ コロナ対応の想定  
・県内外招待者の参加予定者数を縮小する可能性あり  
(参考) 島根県 4,000人→1,000人

### (2) 運営上による招待区分

区分	人数	内訳	
中央特別招待者①	30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、滋賀県知事、県議会議長、次期開催県知事、開催市町長等	
特別招待者	県外特別招待者	220人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者、琵琶湖・淀川流域の関係者等
	県内特別招待者	200人	県議会議員、市町長、緑化功労者、実行委員会委員等
	小計②	420人	
一般招待者	県外一般招待者	850人	各都道府県森林・林業関係者等
	県内一般招待者	1,700人	県内の森林・林業・緑化関係者、県内公募による一般県民等
	小計③	2,550人	
招待者小計(①+②+③)	3,000人		
本部員・協力員④	2,000人	実施本部員、協力員、出演者、運営ボランティア等	
合計(①+②+③+④)	5,000人		

### 3 招待者行動計画

②中間案で一部追加予定

#### (1) 前日スケジュール

時間	県外一般
14:00	指定集合地
14:30	↓
17:00	記念植樹 林地視察
17:30	↓
18:30	指定宿泊地 大会受付
	指定宿泊地 夕食等

【全体進行、県外一般以外の招待者、および実施本部員のスケジュールについても記載】

※招待者の行動計画は変更となる場合がある。 ※一般招待者(県外)は前日に記念植樹を行う。(全国林業後継者大会参加者を除く)



②中間案で一部追加予定

(2) 当日スケジュール

時間	全体進行	中央 特別招待者	特別招待者		一般招待者	
			県外	県内	県外	県内
8:00		指定宿泊地	指定 宿泊地	指定 集合地	指定 宿泊地	指定 集合地
9:00	おもてなし 広場		記念植樹		入場 チェック	記念 植樹
9:30			入場チェック		入場 チェック	入場 チェック
9:55		入場・着席	着席			
10:00	イントロダクション	イントロダクション				
11:00	プロローグ	プロローグ				
12:00	式典行事 記念式典	代表者植樹	記念式典			
13:00	エピローグ	昼食	エピローグ			
14:00	おもてなし 広場		昼食・休憩			
		駅等	駅等で 解散 視察コース参加	指定地 解散	駅等で 解散 視察コース参加	記念 植樹 指定地 解散

【実施本部員の  
スケジュールに  
についても記載】

※招待者の行動計画は変更となる場合がある。

※一般招待者(県外)は前日に記念植樹を行う。(全国林業後継者大会参加者を除く)



4 受付計画

①素案で一部修正

(1) 前日受付

- 宿泊する招待者については、大会前日、宿泊施設にて1回目の受付を行います。
- 宿泊施設には招待者専用の受付を設置し、スムーズなチェックインができるようにします。
- 宿泊施設での受付業務は、原則、実施本部員が行います。

(2) 当日受付

- 全国植樹祭当日の受付は、宿泊施設や指定集合地で、バスに乗車する前に行います。
- 指定集合地では、安全性の確保のため、原則、専用の受付場所を設けて招待者の受付に当たります。
- 万が一のIDカードの紛失や記念品等が不足した場合に備え、式典会場入口付近にIDカード再発行所を兼ねた記念品のストックヤードを設け、不足品の対応を行います。
- 必要に応じて受付業務の補助や配付物の補充等の対応がとれるよう、関係者と連携を図ります。

招待者区分	受付日	受付種類	受付場所	受付内容
県外招待者	前日	宿泊受付	宿泊施設	①本人確認 ②記念品・大会用品の配付 ③宿泊案内の配付 ④ルームキーの引き渡し
	当日①	バス乗車受付	宿泊施設	①IDカードの着用確認 ②本人確認(乗車名簿と照合)
	当日②	入場チェック	式典会場	①手荷物・IDカード等の確認、持込禁止品の預かり ②金属探知機
県内招待者	当日①	バス乗車受付	指定集合地	①本人確認 ②記念品・大会用品の配付
	当日②	入場チェック	式典会場	①手荷物・IDカード等の確認、持込禁止品の預かり ②金属探知機

②中間案で一部追加予定

(3) 招待者に配付する記念品等

- 全国植樹祭の開催理念や大会テーマ、滋賀県の自然や産業、観光資源、特産品等を全国に情報発信するために、記念品等を配付します。
- 記念品の選定にあたっては、県産品の活用を図り、環境に配慮したものとするとともに、遠方からの招待者の持ち帰りやすさに配慮します。
- 式典の円滑な運営のため、IDカードや帽子等を配付します。

【記載イメージ】

区分	中央特別招待者	特別招待者		一般招待者		出演者等		
		県外	県内	県外	県内	出演者	関係団体等	県職員等
大会用品	式典プログラム	○	○	○	○	○	○	○
	帽子		○	○	○		○	○
	大会持込用透明袋	○	○	○	○	○	○	○
	雨合羽	○	○	○	○	○	○	○
	軍手		○	○	○			
	...							
記念品等	記念品	○	○	○	○			
	観光ガイド等	○	○	○	○			

(4) レセプション受付

- 前日に開催されるレセプションの受付は、下記により行います。

招待者区分	受付場所	受付時間	受付内容
中央特別招待者 特別招待者	<b>【レセプション受付内容を記載】</b>		

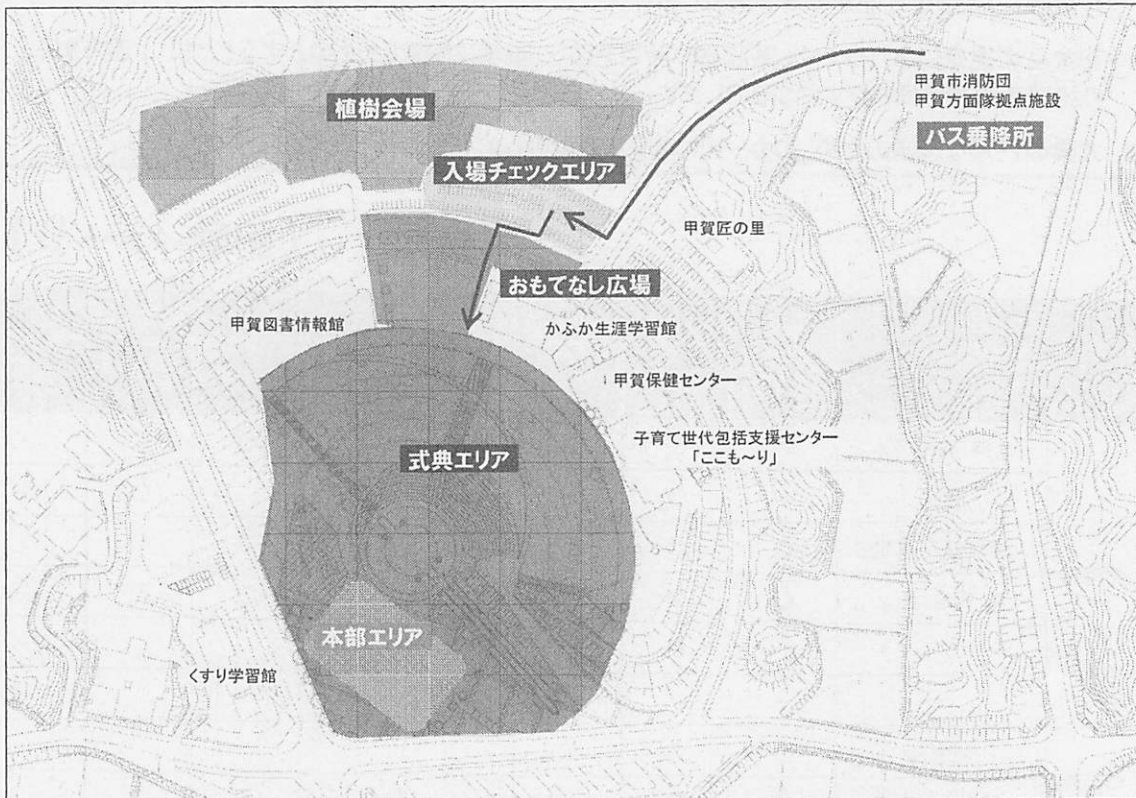
★ コロナ対応の想定

- ・レセプションを取りやめる可能性がある。
- <参考> 島根県 : レセプション取りやめ

## 5 会場内動線計画

基本構想・基本計画で検討済み  
(加筆修正は可能)

### (1) 入場時の動線



### (2) 退場時の動線

入場時のコースを反対に戻る動線とします。



## 6 特別接伴計画

## (1) 特別接伴が必要と認められる招待者の対応

特別接伴が必要と認められる招待者には、実施本部員が次の対応を行います。

## ①中央特別招待者

- ・移動には原則として、借り上げ車等の乗用車を使用します。
- ・前日は、出迎えからレセプションの受付、会場内の案内、誘導、宿泊場所への案内など常時サポートします。
- ・式典当日は、出迎えから受付誘導、会場内の案内、植樹誘導、昼食案内、見送りまで常時サポートします。
- ・中央特別招待者の行動が常時把握できる通信連絡体制を整えます。

## ②特別招待者

- ・~~移動には原則として、バスを使用します。~~
- ・~~レセプションに参加する特別招待者については、出迎えからレセプションの受付、会場内の案内、宿泊場所への案内など常時サポートします。~~
- ・~~式典当日は、出迎えから受付誘導、会場内の案内、植樹誘導、昼食案内、見送りまで常時サポートします。~~
- ・~~特別招待者の行動が常時把握できる通信連絡体制を整えます。~~

## (2) 作品御覧

## 【記載イメージ】

国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品および第72回全国植樹祭大会ポスター原画作品を展示し、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。

【主催】 公益社団法人国土緑化推進機構、滋賀県

【開催日】 令和4年 月 日 ( )

【出席者】 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者  
第72回全国植樹祭大会ポスター原画作者

開催日は日程  
決定後に記載

①素案で一部修正

③案で追加予定

### (3) レセプション

天皇皇后両陛下の御来県を歓迎するとともに、第72回全国植樹祭招待者の来訪を歓迎し、懇親を深める場とします。

【主催】 滋賀県

【開催日】 令和4年 月 日( )

開催日は日程  
決定後に記載

【出席者】 400名程度

- ・中央特別招待者  
(国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、次期開催県知事、滋賀県知事、県議会議長、開催会場市町長 等)
- ・県外特別招待者  
(県選出国會議員、緑化功労者、代表表彰者、琵琶湖・淀川流域の関係者 等)
- ・県内特別招待者  
(県議會議員、市町長、緑化功労者、実行委員会委員 等)

【レセプション日程】

【レセプションのプログラムを記載】

★ コロナ対応の想定

- ・レセプションを取りやめる可能性がある。
- <参考> 島根県 : レセプション取りやめ

## 7 湖国「滋賀」のおもてなし・魅力発信

- 県外招待者の皆さんに、琵琶湖をはじめとする豊かな自然や、文化、歴史的資産など、本県の持つ多種多様な魅力を伝える「視察コース」を設定し、事前に参加を促すなど、観光の振興を図ります。
- 公式ホームページ等を活用した観光PRや、大会参加者への観光パンフレット等の配布により、本県の魅力ある観光地を広く発信します。
- 「おもてなし広場」等での観光案内や、森の恵みをはじめとする本県の多様な地場産物等を取り揃え、物産販売を促進します。



参考例：第70回全国植樹祭愛知大会

★ コロナ対応の想定  
 ・おもてなし広場の設置を取りやめる可能性がある。  
 <参考> 島根県：おもてなし広場の設置取りやめ

### (1) おもてなし広場計画

- 式典会場内におもてなし広場を設置します。招待者が安全・安心・快適に過ごせるよう総合案内所や湯茶接待コーナー、救護所、仮設トイレを整備します。
- 国民的資産に位置づけられた「琵琶湖」や森林などの豊かな「自然」、県内各地の多種多様な「食や文化」、「歴史的資産」など、本県の魅力を関係団体等と協力しながら広く発信します。
- おもてなし広場では森の恵みをはじめとする本県の多様な地場産物等を取りそろえ、物産販売を促進するとともに、ゆっくりとくつろいでいただける空間とします。

区分	種類	内容
おもてなし広場	総合案内所	参加者に対する各種案内・情報提供、案内誘導、各種パンフレットの配布、遺失・拾得物の管理。
	おもてなしステージ	歌や踊り、郷土芸能等の披露。
	湯茶接待コーナー	参加者に湯茶、ミネラルウォーターを提供。
	販売コーナー	県内の特産品や飲食物等の販売。
	展示コーナー	県内の森林・林業、観光等を紹介。
	臨時郵便局	記念切手の販売、郵便・宅配サービス。
	救護所	参加者の体調管理・救護。
植樹会場	休憩コーナー	休憩所用テントを設置。
	案内所・簡易救護所	参加者に対する各種案内・情報提供、応急処置。



参考例：第70回全国植樹祭愛知大会



<おもてなし広場配置図>

【おもてなし広場配置図を記載】

<おもてなし広場展開イメージ>

【イメージパースを記載】

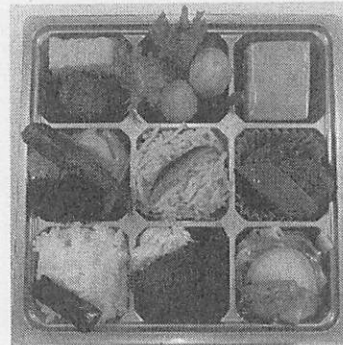
①素案で一部修正

(2) 昼食計画

②中間案で一部追加予定

①基本的な考え方

- 県産食材、地元特産品等をふんだんに使用した「滋賀県らしい」弁当とします。
- 昼食の製造、輸送、保管、配付は衛生・安全面に万全を期すとともに、容器・包装資材についても環境に配慮したものを使用します。
- 納入業者の選定は、製造能力および運搬時間・距離等を検討して選定します。



参考例：第70回全国植樹祭愛知大会

②昼食場所

- 原則として式典会場内での昼食(弁当)とします。
- 中央特別招待者とその随行員は、指定場所での昼食会とします。
- お弁当の内容等
  - 滋賀県の県産食材をふんだんに使った、「滋賀県らしい」献立とします。
  - 弁当の輸送・保管・配付は、衛生・安全面に十分配慮し、保冷車で運搬します。
- 出演者、実施本部員等は、原則としてそれぞれ業務に従事する場所での昼食とします。
- 弁当の配布については、下表のとおりとし、効率的に配布します。

参加者区分	弁当配付・喫食場所	弁当配付時間
中央特別招待者	<b>【弁当配布場所等を記載】</b>	
特別招待者		
一般招待者		
出演者等		
実施本部員 等		

(3) 湯茶接待計画

- 招待者、出演者等が快適に過ごせるよう式典会場に湯茶接待所を設置します。
- 一般招待者用にはおもてなし広場、中央特別招待者等には控室、出演者には出演者控室周辺で湯茶、ミネラルウォーターを提供します。

8 サテライト会場等計画

②中間案で追加予定

(1) サテライト会場

① えきまちテラス長浜

★ コロナ対応の想定

- ・サテライト会場の設置を取りやめる可能性がある。
- <参考> 島根県 : サテライト会場の設置取りやめ

② 琵琶湖博物館

【サテライト会場の概要等を記載】

③ 忍の里プララ【甲賀市設置】



②中間案で追加予定

(2) 一般植樹会場

① びわこ地球市民の森

② 森林公園くつきの森

【一般植樹会場の概要等を記載】

③ きゃんせの森

(3) PR会場

① 岡崎公園

【PR会場の概要等を記載】

① 大阪城公園

9 医療・衛生計画

②中間案で一部追加予定

(1) 医療救護所の設置

- 式典会場および各記念植樹会場に救護所を設置し、傷病者の医療救護を行います。
- 各救護所には、医療品や休憩用ベッド等を備えます。
- 消防署や近隣の医療関係機関の協力を得て、緊急の場合の搬送・受入体制を整えます。

会場	対応内容
式典会場	【救護所一覧表を記載】
植樹会場	

(2) 衛生対策

- 保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。
- 食の安全を期すため、弁当業者や宿泊施設、会場内の食品提供施設などの指導を徹底します。
- 飲食等により発生する廃棄物の適切な処理を行い、各会場およびその周辺的环境美化に努めます。

(3) 熱中症対策

- 
- 
- 

(4) 感染症対策

- 
- 
- 

★ コロナ対応の想定

・コロナの動向を踏まえ、必要な対策について記載

(1) コロナが収束していない場合

→ マスクの着用やアルコール消毒、3密を避ける方策  
(ソーシャルディスタンスの確保等)などについて記載

(2) コロナが一定収束した場合

→ コロナの経験を活かし、その他感染症の可能性に  
配慮した対策について記載  
(可能な範囲で、アルコール消毒やソーシャルディ  
スタンスの確保に努める等)

## 10 消防・防災・警備計画

## 【記載イメージ】

## (1) 基本的な考え方

- 消防、警察、その他関係機関との協力体制を築き、連携を密にして、招待者等の安全を確保し、安心して参加いただけるようにします。
- 危機管理については、責任者を明確にし、迅速な初期対応ができるようマニュアル等を作成し、研修を行います。

## (2) 消防・防災

- 参加者の安全を確保し、安心して参加できるようにします。
- 消防、警察その他関係機関との協力体制を築き、連携を密にします。
- 特に危機管理については、責任者を明確にし、迅速な初期対応ができるようマニュアル等を作成し研修を行います。
- 実施本部の消防・防災・警備班が中心となり、異常の早期発見、通報に努めます。
- 会場内は、喫煙所を除きすべて禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- おもてなし広場等の火気使用についても管理を徹底します。
- 避難については、避難計画を策定し、実施本部員への周知徹底を図るとともに、参加者全員が安全に避難できる体制を整えます。

&lt;実施体制&gt;

&lt;実施期間&gt;

【実施体制、実施期間、実施内容について記載】

&lt;実施内容&gt;



②中間案で一部追加予定

## (3) 警備

- 会場内での事件・事故を防止し、全国植樹祭の円滑な運営を図るため、警察等関係機関と協力して警備を実施します。
- 警備員や実施本部員などを配置して、警備や車両の整理、参加者の誘導を行います。
- 式典会場の入場ゲートでは、金属探知機による持ち物検査や入場者の確認を行います。

&lt;実施体制&gt;

&lt;実施期間&gt;

**【実施体制、実施期間、実施内容について記載】**

&lt;実施内容&gt;

②中間案で追加予定

(4) 入場チェック計画

- 
- 
- 

<入場管理の流れ>

【イメージ図を記載】

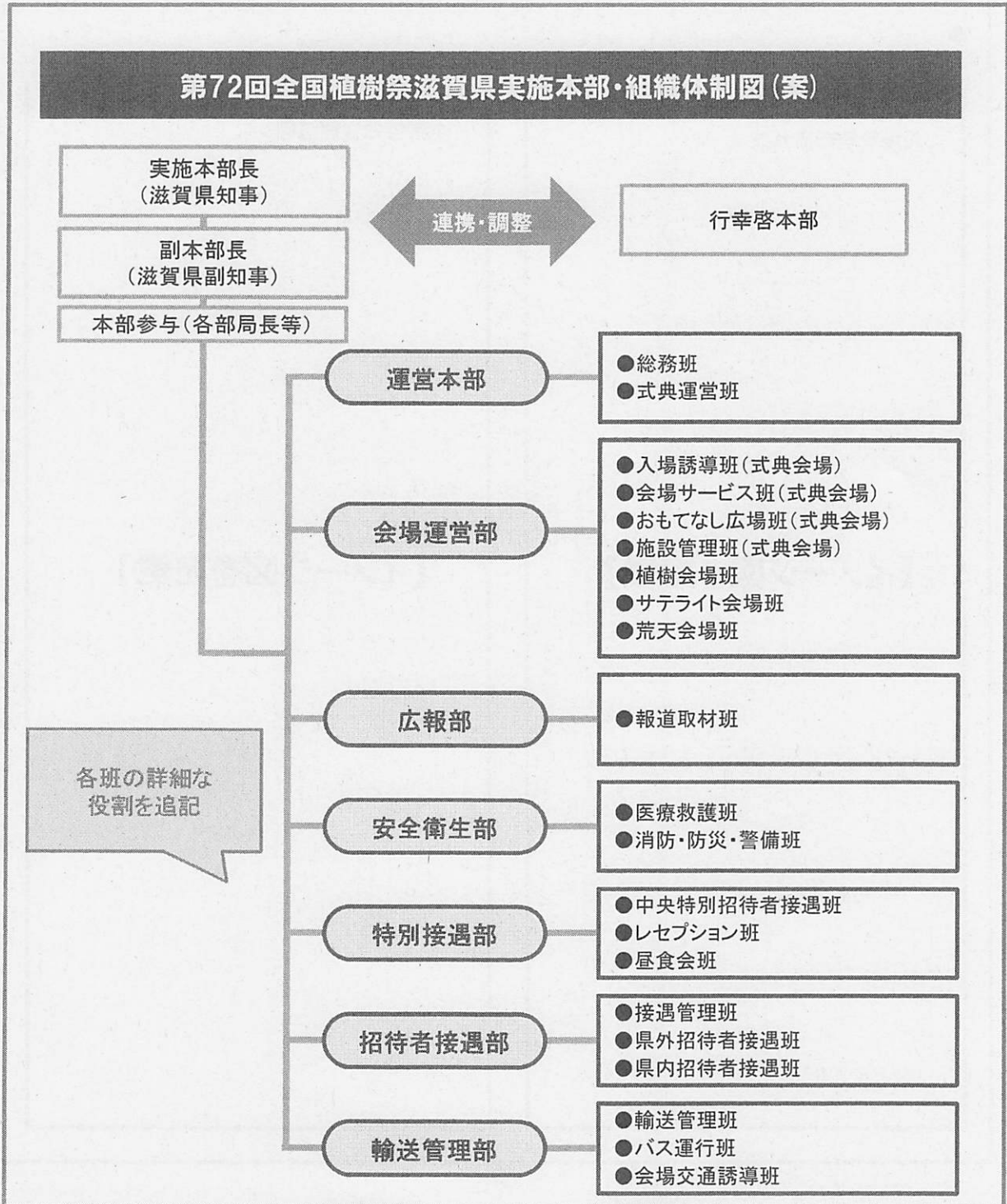
<金属探知機周辺図>

【イメージ図を記載】

11 実施本部計画

②中間案で一部追加予定

- 円滑な運営を図るための実行組織として、「第72回全国植樹祭滋賀県実施本部(仮称)」を設置します。
- 県職員その他、開催市職員、ボランティアなどの積極的な協力を得て効率的な要員配置を行うとともに、実施運営の円滑化や参加者の安全性、快適性の確保に努めます。





### 12 研修リハーサル計画

②中間案で一部追加予定

- 円滑な運営に向けて、実施本部員、協力員（関係市町職員、ボランティア等）の研修を行うほか、出演者を含めたリハーサルを実施します。
- 効果的な研修・リハーサルを実施するため、事前に、各班単位の「運営マニュアル」を作成します。
- リハーサル計画に基づき、実施本部員全員が業務内容を把握できるようにします。

#### (1) 実施本部員等の研修計画

実施本部員、協力員（関係市町職員、ボランティア等）の研修は、事前の資料配付、現地視察、リハーサルへの参加等により実施します。

#### (2) 研修・リハーサル計画

区分	時期	場所	参加者	内容
出演者説明会	3カ月前	未定	出演者代表	式典概要・参加内容説明
合同説明会	開催8～6週間前	未定	実施本部員 出演者代表	式典全体の説明
式典リハーサル	開催6～4週間前	式典会場	出演者(介添者) 実施本部員	式典部分のリハーサル
総合リハーサル	開催1ヶ月前	式典会場	実施本部員 協力員 出演者	全体通しリハーサル、車両・参加者誘導、接遇研修、非常時訓練他
荒天会場説明会	開催1ヶ月前	荒天会場	出演者(介添者) 実施本部員	会場確認および説明
前日リハーサル	開催前日	式典会場 植樹会場	実施本部員 協力員 出演者	全体通しリハーサル、車両・参加者誘導、接遇研修、非常時訓練他

各リハーサルの日程が決まり次第、日付を追記

### 13 雨天時・強風時対応計画

②中間案で一部追加予定

- プログラムごとに雨天計画を策定し、役割分担の明確化と雨天体制へのスムーズな移行を行います。
- 式典演出については、天候に応じ各出演団体との協議の上、内容の変更を決定します。
- 式典音楽隊の演奏が不可能な場合は、事前に演奏を収録した音源を使用します。
- 会場警備上、傘の持ち込みができないため、事前にレインコートを配布します。

#### (1) 雨天対策

【雨天対策について記載】

#### (2) 強風対策

【強風対策について記載】

①素案で一部追加・修正

1 基本的な考え方

- 宿泊招待者(主に県外招待者)は、式典前日に式典会場や植樹会場の近隣地域などで実行委員会が指定する施設に宿泊することを原則とします。
- 式典当日は、宿泊招待者は宿泊施設から、当日招待者(主に県内招待者)は県内各地に指定される集合地から、原則として実行委員会が手配するバスにより会場に移動することとします。
- 宿泊施設の収容人員、宿泊料金、道路交通事情、送迎体制、大会前後の視察ルートを総合的に勘案し、無理のない宿泊・輸送体制を整えます。
- 招待者の安全で円滑な輸送を図るため、運行ルート、輸送スケジュールおよび必要な交通規制などについて、関係者で綿密な打ち合わせを行うとともに、添乗員の配置・案内により快適な輸送体制を整えます。
- 会場周辺およびアクセス道路沿線の安全を確保し、警備に万全を期します。
- 会場へのアクセス道路沿線については、関係市町や県民の皆さんの協力の下で美化に努めるとともに、招待者を歓迎します。
- 滋賀県の温かいおもてなしの心をもって、無理のない安全・安心な宿泊・輸送体制を整えます。
- 県外招待者に、琵琶湖をはじめとする豊かな自然や、文化、歴史的資産など、本県の持つ多種多様な魅力を伝える「視察コース」を設定し、観光の振興を図ります。
- 外国の方の参加にも配慮し、状況に応じて外国語での表記や案内を行います。

★ コロナ対応の想定

・感染対策の実施

(宿泊施設における消毒の徹底、相部屋からシングルへの変更、  
宿泊や輸送時におけるソーシャルディスタンスの確保等)



参考例：第70回全国植樹祭愛知大会

2 宿泊計画

- 式典会場や植樹会場までの道路状況やアクセス等を考慮した適切な宿泊エリア・宿泊施設を選定します。
- 施設内または近隣で、安全にバスの乗降できる場所が確保された宿泊施設を選定します。
- フロントやロビー等宿泊施設内に専用デスクを設置し、招待者に大会用品等(大会プログラム、IDカード、帽子等)を円滑かつ確実にお渡しできる体制を整備します。
- 食事のメニューについては、本県の食のPRのために努め、県の特産品を積極的に取り入れたメニューを提供するように努めます。
- 緊急時に搬送できる救急病院や緊急時対応者の有無、AED(自動体外式除細動器)の設置状況を事前に把握し、万が一の事故に備えます。



### 3 輸送計画

②中間案で一部追加予定

#### (1) 輸送方針

- 参加者はバスで輸送することを基本とし、招待者区分ごとに輸送計画を作成します。
- 参加者の安全で円滑な輸送を行うため、バス事業者、関係機関と協議・検討の上、運行ルートを設定します。
- 式典当日の道路混雑等のリスクを想定し、できるだけ移動時間がかからない最短ルートを設定します。
- 交通事故や渋滞等の不測の事態に備え、代替ルートや迂回ルートの設定を行います。

<輸送フロー>

**【輸送フロー図を記載】**

①素案で一部修正

②中間案で一部追加予定

(2) 関係車両一覧

参加者区分	使用車両	台数	同乗者	備考
中央特別招待者	借上車等	30台	接伴員	出迎え・添乗・誘導・見送り
県外招待者	計画輸送バス	142台 437台	添乗員	各種案内・誘導
県内招待者	計画輸送バス		添乗員	各種案内・誘導
本部員・協力員	計画輸送バス		担当班員等	出展者等搬出入を伴う場合はトラックを手配

(3) 駐車場計画

- 駐車場は道路交通事情も考慮し、会場の近隣地または近傍地から選定し、一時的に確保します。

【駐車場位置図を記載】

### 4 運行管理体制・緊急時対応

- 式典会場周辺に輸送管理本部を設置し、運行状況の管理を一元的に行います。
- 車両の運行状況を把握し、安全で円滑な運行体制を確保するため、輸送ルート上に、~~休憩所、~~チェックポイント、~~バス運行調整池~~を設け、それぞれに係員を配置し、~~バス添乗員の携帯電話や無線機~~等によりリアルタイムの連絡体制を確保します。

#### (1) チェックポイント等

- 
- 

【チェックポイント等について記載】

#### (2) 指定集合地

- 
- 

【指定集合地について記載】

### 5 道路交通対策

- 会場周辺の道路や招待者の輸送ルートにあたる道路については、参加者および周辺住民等の交通の安全の確保と車両の円滑な運行を行うため、事前に道路管理者等と協議の上、道路工事や必要に応じて道路占有許可や交通整理、交通規制等の必要な措置を講じます。
- ~~参加者および周辺住民等の交通の安全の確保と車両の円滑な運行を行うため、関係機関の協力を得て、交通整理、交通規制等を実施します。~~



## 第7章 荒天時計画

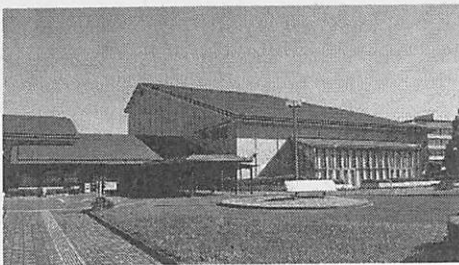
### 1 基本的な考え方

基本構想・基本計画で検討済み  
(加筆修正は可能)

- 暴風雨、集中豪雨等の荒天に見舞われ、式典会場での式典が困難であると判断した場合は、荒天会場での式典を実施します。
- 開催日の1週間前から随時情報収集に努め、荒天会場での実施の可否を判断します。
- 荒天会場での実施決定に備え、関係機関と万全の連絡体制を構築し、円滑な実施運営を行います。

### 2 開催会場

- ◆ あいこうか市民ホール  
(甲賀市水口町水口5633番地)



### 3 開催規模

- 県内外からの招待者等を合わせて1,000人程度の規模に縮小して開催します。

区分	人数	内訳
中央特別招待者	30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、滋賀県知事、県議会議員、次期開催県知事、開催市町長 等
県外特別・一般招待者	470人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者、琵琶湖・淀川流域の関係者 等
県内特別招待者	200人	県議会議員、市町長、緑化功労者、実行委員会委員 等
本部員・協力員	300人	実施本部員、協力員 等
合計	1,000人	

#### ★ コロナ対応の想定

- ・県内外招待者の参加予定者数を縮小する可能性あり
- ・感染対策の実施(ソーシャルディスタンスの確保等)

4 荒天時運営計画

②中間案で一部追加予定

(1) 式典計画

- 晴天時の3部構成を記念式典のみとし、大会テーマの表現、代表者記念植樹を除いた構成とします。
- 式典行事の時間は、50分程度とします。

(2) 式典プログラム

【記載イメージ】

時間	進行
30分程度	<p>【招待者等入場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、滋賀県知事、次期開催県知事、開催市長等</li> </ul>
50分程度	<p>【式典】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天皇皇后両陛下下御到着</li> <li>・開会のことば</li> <li>・国歌斉唱</li> <li>・主催者挨拶</li> <li>・天皇陛下のおことば</li> <li>・表彰</li> <li>・苗木の贈呈</li> <li>・天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き</li> <li>・大会宣言</li> <li>・リレーセレモニー</li> <li>・閉会のことば</li> <li>・天皇皇后両陛下下御出発</li> </ul>
	<p>【招待者退場】</p>

(3) 荒天時の切り替えシステム

【切替システムのイメージ図を記載】



②中間案で追加予定

(4) 荒天時の招待者への対応

- 
- 

参加者区分	荒天時運営対応
中央特別招待者	
県外特別招待者	
県内特別招待者	<b>【荒天時の運営対応について記載】</b>
県外一般招待者	
県内一般招待者	

②中間案で追加予定

(5) 招待者行動スケジュール

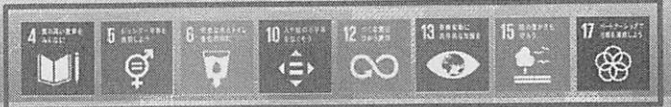
時間	全体進行 (人数)	中央 特別招待者 人	特別・一般招待者	
			県外	県内
			人	
【招待者行動スケジュールを記載】				

②中間案で追加予定

(6) 荒天会場平面図

【会場平面図および動線を記載】





## 1 基本的な考え方

①素案で一部追加・修正

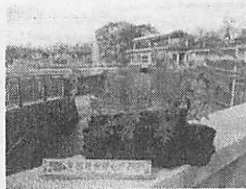
- 第72回全国植樹祭の開催理念を広めるとともに、将来を見据えた滋賀の森林づくりや木材利用の必要性等を広く啓発するため、県民や琵琶湖・淀川流域をはじめ、日本、世界の皆さんに、琵琶湖とその水源となる森林の大切さを理解し、親しんでいただける記念事業を実施します。

## 2 記念事業

### ● 苗木のホームステイ・スクールステイ

森林の大切さと緑づくりへの関心を高めるため、全国植樹祭等で使用する苗木を、県内および琵琶湖・淀川流域の一般の方や企業・団体等に育成してもらう「苗木のホームステイ」を実施します。また、県内の小学校4年生を対象とした森林環境学習「やまのこ」事業とも連携し、「苗木のスクールステイ」を実施します。

- ◇「苗木のホームステイ」  
＜時期＞ 平成30年10月～
- ◇「苗木のスクールステイ」  
＜時期＞ 令和元年5月～



### ● ビワイチ森づくり事業

県内全域・県民総ぐるみで大会を盛り上げていく取組の一環として、全市町で一般県民等を対象とした森づくりイベント等を実施します。

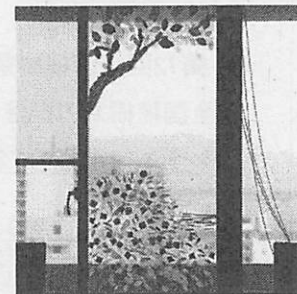
- ＜時期＞ 令和元年11月10日(日)～
- ＜場所＞ 県内各地域
- ＜内容＞ 植樹、森林整備、木工体験および植樹祭のPR活動等



### ● コロナに負けないぞ！！子ども応援プロジェクト

新型コロナウイルス感染症の影響により外出が制限される中、子どもたちに家に居ながらにして取り組める「コロナに負けないぞ！！子ども応援プロジェクト」の一環として、森や自然に対する関心と全国植樹祭への意識の高揚を図る取組を実施します。

- ◇「窓の景色で森アート インスタグラムフォトコンテスト」  
＜内容＞ 自宅の窓に色紙やセロファンで森や山の風景を作り、インスタグラム上でフォトコンテストを行う。  
＜時期＞ 令和2年4月15日～7月31日
- ◇「自然の中の宝ものさがし」  
＜内容＞ 自然の中で集めた落ち葉に絵の具を塗ってノートなどに拓本するSYOKUJUIN帳づくり等を行う。  
＜時期＞ 令和2年6月1日～9月30日
- ◇「おうちで木工マイスター！？With全国植樹祭しが2022」  
＜内容＞ 木工作品づくりをとおして子ども達に木の良さや親しみを感じてもらう。  
＜時期＞ 令和2年7月15日～8月5日



①素案で一部追加・修正

②中間案で追加予定

## ● 緑の少年団「グリーンジャンボリー」

第72回全国植樹祭において重要な役割を担う緑の少年団の育成および大会への機運醸成のため、県内および琵琶湖を水源として利用する府県(大阪府)の少年団の交流、活動発表を行います。

- <時期> 令和元年10月27日(日)
- <場所> 鹿深夢の森 かふか生涯学習館(甲賀市甲賀町)
- <内容> 活動発表、樹木観察、ネイチャーゲーム、木工体験(プランターカバー作り)

## ● こども水源の森サミット

県内全域に加え、琵琶湖を水源として利用するすべての府県から緑の少年団の参加を募り、大会への機運を醸成するとともに、琵琶湖・淀川流域における滋賀県の森林づくりの重要性を共有します。

※全国植樹祭の1年延期に伴い、2か年で実施

- <時期> 令和2年11月22日(日)
- <場所> サントピア水口、みなくち子どもの森(甲賀市水口町)
- <内容> 野外散策、植樹活動、木工工作  
リモート交流会(表彰、活動発表、クイズ)  
[参加団:滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県]

- <時期> 令和3年11月頃[予定]
- <場所> 甲賀市土山体育館および  
その周辺(甲賀市土山町)[予定]
- <内容> (未定)

開催日は日程決定後に記載



## ● 秋のプレ植樹祭inみなくち子どもの森

全国植樹祭の1年延期に伴い、大きくなりすぎてしまった苗木を活用するとともに、コロナ禍で外出が制限される状況下でも中だるみせず、大会に向けた機運の高揚を図るために開催します。

- <時期> 令和2年11月22日(日)
- <場所> サントピア水口、みなくち子どもの森(甲賀市水口町)
- <内容> 表彰式(森林林業緑化功労者、緑化関係ポスター原画コンクール等)、記念植樹、木工体験、林業体験



## ● 第72回全国植樹祭1年前記念イベント「緑のしずく祭」

全国植樹祭の開催1年前の時期に、大会の周知、開催機運の醸成を図るため開催します。

※全国植樹祭の1年延期に伴い、当イベントも1年延期して開催。

- <時期> 令和3年6月6日(日)
- <場所> ビラデスト今津(高島市今津町深清水)
- <内容> 記念伐採、記念植樹、表彰式  
トークセッション、木工体験等



①素案で一部追加・修正

②中間案で追加予定

## ● カウントダウンイベント

第72回全国植樹祭開催機運を盛り上げるため、開催日までのカウントダウンイベントを実施します。

◇「(仮)開催日決定！カウントダウンボード除幕式」

&lt;内 容&gt;

&lt;時 期&gt; 令和3年 月 日( )

※5基のカウントダウンボードを、県庁や県内各地に設置

◇「(仮)200日前記念イベント」

&lt;内 容&gt;

&lt;時 期&gt; 令和3年 月 日( )

◇「(仮)100日前記念イベント」

&lt;内 容&gt;

&lt;時 期&gt; 令和4年 月 日( )

開催日は日程  
決定後に記載

## ● 「木製地球儀」巡回展示

第72回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、大会シンボルである「木製地球儀」を県内各地で巡回展示します。

&lt;時 期&gt; 令和3年6月～

## ● 記録誌の発行、記録映像の作成

第72回全国植樹祭の式典行事、植樹行事をはじめ、各種記念事業などの取組みを、記録誌や記録映像等にまとめ、関係機関等に配付します。

## ● 記念碑の建立

第72回全国植樹祭の開催を記念し、記念碑を建立します。

※記念事業等は検討状況に応じて適宜追加します。

## 3 関連事業

関連事業は、関連団体が主催する事業のうち、第72回全国植樹祭の目的と関わりが深く、実行委員会と互いに連携していく必要がある事業とします。

## ● 第50回全国林業後継者大会

全国の林業後継者が一堂に会し、林業の振興と森づくりの重要性について意見を交わし、林業を担う人たちが、希望や誇りを持って働き続けられる林業の魅力を全国に発信します。

&lt;時 期&gt; 令和4年(2022年) 月 日( ) (第72回全国植樹祭の前日)

&lt;場 所&gt; 多賀町中央公民館「多賀結いの森」

&lt;内 容&gt; 森林・林業関係者の活動発表、パネルディスカッション等

開催日は日程  
決定後に記載



①素案で一部追加

## 1 基本的な考え方

- 広報宣伝や協賛募集を通じて、大会の開催理念、基本方針、内容等について広くPRすることで、開催への機運を高めるとともに、これを契機として、県民や琵琶湖・淀川流域をはじめ、日本、世界の皆さんに、琵琶湖とその水源となる森林の大切さを理解し、親しんでいただける機会を提供します。
- 広報媒体の特性を活かした情報発信により、効果的な広報活動を実施します。

## 2 広報計画

全国植樹祭の開催理念や事業の展開について、広く普及・浸透を図るために行います。

- 各報道機関との連携を深めるとともに、第72回全国植樹祭の広報誌を発行します。
- 公式ホームページを開設し、各種イベント・取組等に関する情報を積極的に発信するとともに、各種の問い合わせや申し込みなどについてもインターネットを効率的に活用します。
- 大会テーマ、シンボルマークおよび大会ポスター原画を活用し、第72回全国植樹祭の開催を県内外に広報します。
- 滋賀県イメージキャラクター「うおーたん」を「第72回全国植樹祭しがPR大使」に任命し、全国植樹祭の関連イベント等への参加や各種SNSを通じて大会のPRを行います。
- カウントダウンボードを県庁や県内各地に設置し、第72回全国植樹祭の開催機運を盛り上げます。



第72回全国植樹祭しがPR大使「うおーたん」

### (1) インターネット活用(各種情報提供・募集など)

第72回全国植樹祭の公式ホームページを開設するとともに、SNSの活用等を通じて、各種イベント・取組等に関する情報を積極的に発信します。また、各種問い合わせや申し込みなどについても、インターネットを効率的に活用します。

### (2) 県・市町の公共広報活用(各種情報提供・募集など)

県および各市町の広報や広報番組等の公共広報媒体を有効活用し、広く県民に向けて、きめ細かい情報提供とPR活動を実施します。

### (3) マスメディア活用(関連行事の報道など)

テレビ、ラジオ、新聞等、各報道機関との連携を深めるとともに、全国植樹祭、記念事業等に関する情報を提供します。

### (4) 企業・団体との連携(広告協賛など)

シンボルマーク等の使用を広く呼びかけるなど、県内を中心とした企業・団体の支援協力による広報活動を通じ、全国植樹祭の周知を図ります。

### (5) 植樹祭情報紙の発行

「植樹祭だより『緑のしずく』」を発行し、開催準備状況や記念事業の実施状況等について情報発信します。また、苗木のホームステイ参加者、苗木のスクールステイ参加校に向け、「苗木だより」を発行し、苗木の育て方や開催準備状況等について情報発信します。特に苗木のスクールステイ参加校には「子どもかべしんぶん 緑のしずく」を発行し、子どもたちにもわかりやすく情報発信を行います。

### (6) PRグッズの作成・配布等

シンボルマーク等を用いた各種PRグッズを作成・配布し、開催の周知と機運の醸成を図ります。

### 3 協賛計画

基本構想・基本計画で検討済み  
(加筆修正は可能)

- 第72回全国植樹祭を一過性のイベントとして終わらせることなく、これを契機として県民参加の森づくりのさらなる拡がりへと繋げていくため、企業や団体に対し、広く支援を求めています。
- 協賛企業等は、第72回全国植樹祭の式典会場や公式ホームページ、広報誌、記録誌等で協賛者名が掲載されるなど、様々な特典が得られます。

#### (1) 資金協賛

植樹祭行事の実施に要する資金(協賛金)の提供

#### (2) 物品協賛

植樹祭行事の実施に要する物品(協賛物品)の提供

#### (3) その他

機器等の無償貸与、役務の提供、広告掲示などによる協力



メタセコイア並木  
(C) Biwako Visitors Bureau

苗木のスクールステイ(滋賀県立近江富士花緑公園)

長浜曳山祭  
(C) Biwako Visitors Bureau

浮御堂  
(C) Biwako Visitors Bureau

彦根城  
(C) Biwako Visitors Bureau

信楽焼  
(C) Biwako Visitors Bureau

緑の少年団植樹活動

沖島  
(C) Biwako Visitors Bureau

びわ湖フローティングスクール  
「うみのこ」

森林環境学習  
「やまのこ」

農業体験学習  
「たんぼのこ」

びわ湖ホール  
音楽会へ出かけよう!  
「ホールの子事業」  
(C) 栗山主税

【表紙写真】





## 第72回全国植樹祭 実施計画

令和 年 月



第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会事務局  
(滋賀県琵琶湖環境部 全国植樹祭推進室内)

〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目2-1 滋賀県大津合同庁舎内  
電話番号：077-528-3970 ファクシミリ番号：077-528-4891  
<https://www.pref.shiga.lg.jp/syokujusai-shiga2021/>  
または、「第72回全国植樹祭」で検索してください。